

平成27年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	文楽を知る・見る・楽しむ
団体名	文楽長野公演軽井沢事務局
総事業費	844,845円（うち補助金：207,000円）

事業内容

世界に類を見ない人形劇であり、また、世界の文化遺産ともなっている日本の伝統芸能「文楽」は、長野県内において知らない人が多いため、まずは子供達から知ってほしいとの思いから、昨年に続き文楽教室を開催。本年は軽井沢中部小学校の児童200名を対象に体育館で2時間近くの公演を行い、分かりやすい解説を楽しみ乍ら、少しでも文楽を知ってもらえたと思います。日本人が世界に誇る日本の伝統芸能を知ってほしいとの考えから毎年続けます。



【 軽井沢中部小学校 】

【目標・ねらい】

- 世界文化遺産・世界に類のない日本の誇れる人形劇「文楽」を日本人として知ってもらう。
- まずは次時代をになう子供達からの考え。

事業効果

文楽教室の形式をとっての公演を実施。子供達は体験コーナーにて修行の大変さを知り、また、長い年月をかけて修行することによりできるスムーズで速い動きを近くで実感することが出来ました。文楽に出会えることが「無」に近い長野県の子供達に、良い機会を作ってあげられたと思います。アンケートにも表れていました。

自己評価（目標達成率）

【 A 】

今後の取り組み

平成26年8月に御代田町教育委員会のご協力と宝くじ財団の助成金で初めて公演を開催し、昨年開校した「ISAK」の子供達も参加しました。各種補助金などの力を借りながら、軽井沢・御代田などで少しでも多くの子供達に知ってもらうため、毎年開催出来る努力をしていきます。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。